

福岡県春木田の巨峰



生産者、春木田グループの皆さん

生産者（団体）

福岡県鞍手郡鞍手町は、20年以上前から巨峰の栽培に取り組んでいるところです。

春木田連合出荷組合はこの鞍手町で、生協組合員が望む「安全性が高く、おいしいぶどう」作りに取り組む4戸の生産者グループ。（春木田の名は、グループ生産者の名字を組み合わせてつけたグループ名称です。※春田さん、木原さん、田中さん二名）

合計10ヘクタールのぶどう畑で、露地栽培とハウス栽培を組み合わせる生産をおこなっています。

2013年2月、「産直事業協定」調印。

1産地で2度美味しいー春木田巨峰

ハウス栽培は、収穫時期を早めるだけではなく、病気の原因になりやすい雨を防ぎ、農薬量の削減にもつながります。また、雨を防ぐことで水っぽくない糖度の高い巨峰になります。

	食味	出荷時期
ハウス栽培	まろやかな味わいが特徴	7月後半～8月下旬
露地物栽培	酸味がきいた甘味が特徴	8月下旬～10月

それぞれの時期のあじわいが楽しめるのも、春木田グループとの産直取り組みならではの楽しみ方。

可能な限り農薬を使わずに

安全性のこだわりとあわせて、ぶどうの木をより強くし、おいしい巨峰を収穫するため、除草剤は使用せず、手作業による草取りをおこなっています。

ぶどうは、とにかく病気や害虫に弱い作物。無農薬という訳にはいきませんが、堆肥主体の土作りで、ぶどうの木そのものの活力を上げることで抵抗力をつけ、農薬の使用量を必要最小限に抑える努力をおこなっています。

美味しさの継承

新しい樹を植える際は、購入した苗木をそのまま植えるのではなく、グループ内で美味しい巨峰が出来る樹の枝を使い、接ぎ木を行って育てています。そうすることで、春木田の巨峰の美味しさが継承されていきます。生協組合員の為に美味しい巨峰を作り続けることは、産直産地にとって苦労もありますが、やりがいもあります。

生産者との交流

数年に1度、農作業の合間を縫って、生産者の方と生協組合員で交流を行っています。

2017年度には、北部地域の組合員さんが現地を訪れました。

